

令和 6年 2月 22日

報道機関 各位

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）
共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）
令和6年度本格型昇格プロジェクト
「富山循環経済モデル創成に向けた産学官民共創拠点」の
採択について（記者会見のご案内）

このたび、富山大学は、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）令和5年度昇格審査に提案し、令和6年度本格型昇格プログラムとして「富山循環経済モデル創成に向けた産学官民共創拠点」が採択されました。

本学は、令和4年度と同プログラム（地域共創分野・育成型）に採択されて以降、アルミニウム資源のアップグレードリサイクルに係る取組を起点とした「循環経済型イノベーション都市」の実現に向け、産学官民の幅広いステークホルダーとの対話を重ねており、その活動が評価されたものです。

については、下記のとおり記者会見を開催いたしますので、取材・報道方よろしくお取り計らい願います。

記

【日 時】 令和6年2月26日（月）14：00～14：30 開場・受付開始
14：30～15：20 記者会見

【場 所】 国立大学法人富山大学 災害対策プラザ2階
（〒930-8555 富山県富山市五福3190番地）

【概 要】

本事業は、地域大学等を中心とし、地方自治体、企業等とのパートナーシップによる、地域の社会課題解決や地域経済の発展を目的とした、自立的・持続的な地域産学官共創拠点の形成を制度趣旨とするものです。

委託研究費 : 最大2億円／年

支援期間 : 令和6年4月1日から令和16年3月31日まで（最長10年）

昇格件数 : 地域共創分野：2件／8件

参 考 国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

https://www.jst.go.jp/pf/platform/file/r5_shoukakushinsa_saitaku.pdf

【出席者】

国立大学法人富山大学

学長 齋藤 滋

理事・副学長 北島 勲

先進アルミニウム国際研究センター長 柴柳 敏哉（プロジェクトリーダー）

副センター長 小野 英樹

学長特命補佐 大寺 克昌（YKK AP 株式会社技術研究本部技術顧問、

副プロジェクトリーダー）

花木 悟（三協立山株式会社執行役員、副プロジェクトリーダー）

村上 哲（とやまアルミコンソーシアム 事業プロデューサー）

【本発表資料のお問い合わせ先】

富山大学先進アルミニウム国際研究センター 住本

TEL : 076-445-6394 Email : alsuishin@adm.u-toyama.ac.jp